

## 久保田市長の第33回 全力投球



藤井聡太王将を掛川城にご案内しました

3月8日に藤井聡太王将が掛川を訪問されました。第4局で王将防衛が決定し、掛川城二の丸茶室で予定されていた王将戦第6局が実施されず、代わるイベントとして指導対局や大盤解説などに参加していただきました。

### 開門30周年と藤井王将を選んだ字

掛川城天守閣から市の街並みをご覧になった藤井王将は「城主になった気分」と話されました。そして、掛川城天守閣開門30周年という節目の年である今年、記念となる揮毫をいただきました。藤井王将が選んだ文字は「雲外蒼天」。雲を突き抜けたその先には青空が広がっているということを表し、転じて、努力して苦しみを乗り越えればすばらしい未来が待っているという意味です。

掛川城の「霧吹井戸の伝説」はご存知でしょうか。戦国時代、西から徳川家康、東から武田信玄に

攻められた駿河の今川氏真は、重臣朝比奈泰朝の掛川城へ逃げ込みます。この城を落とそうと家康が攻撃を仕掛けた際、井戸から立ちこめた霧が城をすっぽりと覆い隠し、徳川軍は攻撃できなくなったという伝説から掛川城は「雲霧城」とも呼ばれるようになります。

読みの深い藤井王将のことなので「この伝説をもとに『雲』を含む熟語を選ばれたのでは」と思いを巡らせました。

### 幻の勝負めし・おやつも

今回、藤井王将は対局がないためか、終始リラックステマした雰囲気でも笑顔もたくさん見せてくれました。昨年は、羽生善治九段との対局前でピリピリした雰囲気でしたので、掛川のことをゆっくり味わう時間もなかったのではと思いません。今回、幻となった「勝負めし・おやつ」も、祝賀会でたくさん召し上がっていただきました。

全国的に開催地争いが激化していますが、引き続き王将戦を開催できるよう関係者とともに力を入れていきます。

藤井王将、来年もまた将棋のまち掛川でお待ちしております。

## オーガニックな まちをつくらう



Voici

①オーガニックビレッジ推進協議会  
事務局(☎21-1216)

### オーガニックを紡ぐもの

市は令和5年4月に「オーガニックビレッジ宣言」を行い、有機農業を推進しています。同協議会員で(株)あわせ野菜畑代表の大角さんの執筆で、みなさんのオーガニックや有機野菜への関心が高まるような話題を隔月で掲載していきます。

### 農業・環境体感イベントを開催

『あなたもティラノザウルスになって、自然環境の再生をお祝いしませんか』

このような触れ込みのもと、「かけがわティラノフェス」というイベントが、原野谷中学校に隣接する田んぼで開催されました。「みんなで考えよう、農業と地球環境のこと」を

テーマに、恐竜の着ぐるみを着た参加者が、生物多様性が保たれた有機栽培の田んぼの中



で走ったり、踊ったりして交流しました。

競技の前にはごみ拾いを行い、昼食には田んぼに腰を下ろして有機米のおむすびを食べました。競技の景品は、掛川産の有機野菜などが使用され、農業や環境を身近に感じられるイベントとなりました。

### 物語を紡いで有機農業を伝える

環境やオーガニックについて広めようとすると、シンポジウムや映画上映会などの勉強会を企画しがちです。今回、このイベントの実行委員会が立ち上がったときには「農業と恐竜がどう関係するんだろう」と不思議に思いました。

しかし、景品を受け取った参加者が「環境を守るぞ、ガオツ」、「有機野菜を食べるぞ、ガオツ」と叫んでいるのを見て、こういうイベントを楽しむ世代が新しい時代を作っていくのかもしれないと感じました。

「有機の田んぼの柔らかさと温かさを知った子どもが有機のお米を食べている」「一生懸命に走って受け取った有機野菜の味を忘れられない子どもがいる」そんな物語を紡いでいくことが大切なんだろうと思います。(大角昌巳)